

文教厚生委員会会議録

1 期 日 平成24年6月25日(月)

2 会 場 第2委員会室

3 開会時刻 午前10時27分

4 閉会時刻 午前11時09分

5 出席者	委員長	豊田 勝義	副委員長	草賀 章吉
	委員	堀内 武治	委員	佐藤 博俊
	〃	水野 薫	〃	山崎 恵司
	〃	川瀬 守弘	〃	山本 行男

当局側 教育長、水野教育次長、松浦病院事務局長、齋藤健康福祉部長、所管課長

事務局 議事調査係 佐藤健史

6 審査事項

- ・議案第62号 平成24年度掛川市一般会計補正予算(第1号)について
第1条 歳入歳出予算の補正
歳入中 所管部分
歳出中 第3款 民生費
第10款 教育費

- ・閉会中継続調査申し出事項について 6項目

7 会議の概要 別紙のとおり

以上のとおり、報告いたします。

平成24年 6月25日

文教厚生委員長 豊田 勝義

市議会議長 大石 與志 登 様

7 会議の概要

平成24年6月25日（月）午前10時27分から、第2委員会室において全委員出席のもと開催。

1) 委員長あいさつ

2) 当局（教育長）あいさつ

3) 付託案件審査

[10:29~]

①議案第62号 平成24年度掛川市一般会計補正予算（第1号）について

第1条 歳入歳出予算の補正

歳入中 所管部分

歳出中 第3款 民生費

第10款 教育費

第3款 民生費

[福祉課、説明 10:30~10:32]

[質疑 10:32~10:34]

○山本行男委員

このシステム改修料に680万円の増ということですが、障害者自立支援法等が改正になった故に、プログラムを変える費用が680万円かかるということによろしいか。

●柴田福祉課長

はい。

[高齢者支援課、説明 10:34~10:38]

[質疑10:38~10:56]

○堀内武治委員

認知症施策総合推進事業補助金ですが、掛川市立総合病院が指定を受けたということを聞いたが、具体的にどのような事業をやるのか事業内容について説明をいただきたい。

●平出高齢者支援課長

今年1月1日に認知症疾患医療センターが指定をされて、医師の体制は主に二人が行っていて、若井医師と本多医師。物忘れ外来が発展して認知症疾患医療センターができた。認知症疾患医療センターの専門医療の提供としては、鑑別診断、PSWと言って精神保健福祉士が配置をされており、周辺症状の急性期の対応や身体合併症の対応、かかりつけ医の連携といった業務を行っている。

○堀内武治委員

主に医師二人と精神保健福祉士が、業務の充実体制を図るということと同時に、例えば地域を廻るとか具体的に在宅への部分へのフォローをしていく体制はないのか。

●平出高齢者支援課長

そちらが市で行おうとしている市町村認知症施策総合推進事業にあたるものである。今説明をした業務が主なものになっているが、認知症疾患医療センターとの連絡調整や関係機関とのネットワークづくり、こちらを主に推進をするのが認知症地域支援推進員というもので、中部地域包括支援センターに1名の支援推進員を配置をして本人・家族やかかりつけ医、また総合病院にある認知症疾患医療センターとの連絡調整を図っていくということ。

○堀内武治委員

中部地域包括支援センターに 1名配置というのは、今度は新たに配置するということか。

●平出高齢者支援課長

1名配置するための予算額が 650万円で、委託料 631万 7千円が中部地域包括支援センターに支払われて、主には人件費だが、連絡調整等を行っていくもの。

○堀内武治委員

中部地域包括支援センターに支援推進員を配置して、掛川市立総合病院の医師と十分連携を取りながら、認知症の施策の推進のために動くという体制をとるということで、今回予算を補正したということは、いつから具体的に配置するのか。

●平出高齢者支援課長

推進員については、この予算がお認めをいただいた後に委託契約をするので、7月以降ということになる。

○草賀章吉副委員長

地域支え合い体制づくり事業について伺う。地域支え合い体制づくり事業委託料ということで、業者に委託すると思うが、どのようなことかよくわかりにくいので、業者と地域の誰に何をどのように指導しているのか。その辺を明確にさせないと、委託業者に丸投げみたいな感じでお金だけ払えばいいのかと感ずるので、明確にペーパーに書いてこういう仕事をやるんだよというくらいにしっかりとやるべきではないかなと思うがいかがか。

●平出高齢者支援課長

昨年国の補助金をいただき、1億円余のお金で施設整備を行った。それと同時に地域支え合い体制づくりの補助金を県からいただいたので、委託料が主なものだったが、最終的に原田、西郷及び和田岡ふくし館の3館が自主自立ができるように強化をしていかないと難しい。国の介護基盤緊急整備等臨時特例基金の運営要領が改正され1年間延伸となり、それぞれ3館の問題点がでてきたので、それについてやっていこうということで、まず、原田ふくし館については運営母体の設置のサポートについて、文教厚生委員会でも視察をしていただき、モデルとしては一番進んでいると思うが、味噌の原田企業組合、NPO法人いやし処ほのぼの、福祉協議会についても元気クラブとかなかよしキッズの活動も開始をしているが、運営母体のサポートについて、昨年に引き続き、委託業者についてはそここのところを考慮しており、お願いしたいと思っている。また、西郷ふくし館については、今年6月に地区主催の内覧会を行った。施設の運営母体の人材育成が必要である。和田岡については、館長は地区の区長になっており、運営は地区福祉協議会が主導をするということで、運営体制についても確立されているが、自主自立の面でのサポートが必要。浜信の地域振興財団の補助が決定しており、福祉協議会でも西尾さんを中心に行っているが、運営母体のサポートが必要。また、3館ともに相談事業、健康教室、担い手の養成講座等についても、今年予算が付いたのでしっかり確立するためのサポートをしていきたい。

○草賀章吉副委員長

委託された業者が地域に対して指導力を持ってやっていただかないとなかなか前に進んでいかない。私が接している限りでは強い指導力があるように見えないので、行政と一緒に頑張って強くピシッとやれるように持っていかないとお金がもったいない。

○山崎恵司委員

ふくし館のことで、和田岡の場合非常にいい形に出来ているが、長期的にいろんな事業を持って行くように、行政の指導が必要と思う。和田岡としても地域でやろうとしているが、なかなか具体的なものが上がってきていない。指導していただきたい。

●平出高齢者支援課長

委託業者とより連絡を密にして、今年で自主自立ができる方向に努力していきたい。

○山本行男委員

認知症について、今掛川市で把握している認知症は何人くらいいるのか。

●平出高齢者支援課長

認知症の何人というのは難しいものがあるが、普通言われているのは介護認定者が掛川市は4,269人いるので、推計ですが介護認定者の60%と言われている。現在、4,269人の60%となると2,561人となる。本人は認知症という自覚がないので、早期発見、早期対応は困難で実態把握は難しい。

○佐藤博俊委員

この予算というのは一時的なことと思うので、しっかりした基盤を作らないといけないので、原田のように前回見せていただいたが、味噌造り等である程度十分に継続できるように聞いているが、継続するにはそれなりの経費をどうするかということがありますが将来的な展望はどうか。

●平出高齢者支援課長

市も限られた予算となっているので、今年限りと言っていることも事実。地元の人たちの要望によってできたものであったり、経緯がそれぞれ違っているが、地元の人たちに対しては、予算は今年限りということと維持管理的なものについても自主自立をしていくということは申し上げているので、そういった点で連絡調整を密にして努力をしていく。

○佐藤博俊委員

具体的に細かいことになるが、原田はいいところだから見せてもらったのか、何か先が見える気がしたが、西郷、和田岡については、これからサポートをしていかないといけないと言っているが、それぞれの状況は非常にぼやっとしすぎていると思う。

○山崎恵司委員

予算は今年限りだという話があったが、継続的な事業に持っていけるのか心配になるが、来年も予算を付けてある程度サポートしてもらいたい。

●平出高齢者支援課長

今の段階で予算をつけるということは申し上げられないが、山崎議員や草賀議員のご協力をお願いします。

○草賀章吉副委員長

原田でも幼稚園の跡地に作る時にいろいろ何をやっていくかと相当頭を悩ませてきたなかで、デイサービスを入れよう、学童保育を入れようと自らお金を稼げて運営できる場所を主体にやって、残った世代間とって、地域の人たちが使う所のスペースについては、光熱費を出すところがないので、これはなんとかしないといけないということで、味噌造りをしたということ。原泉では学校の跡地をさくら咲く学校ということで検討しているが、自らどうお金を稼ぎながら運営にあてられるかという、これからの課題がそれ。たぶん今年も多少出てもこれから出るということは考えられない。空きスペースが増えてくるので、これから地域づくりの中では、自らお金をどう生み出しながら運営していくということを当初から考えていかないといけないと思って始めたのが原田ですが、付けていただいたんで大変ありがたく上手に使いたいと思う。

第10款 教育費

〔社会教育課、説明 10:57～10:58〕

〔質 疑10:58～11:03〕

○佐藤博俊委員

言葉が電柱の賠償金と聞こえたが、そんなにお金がかかるのか。移転費というのか。

●大川原社会教育課長

区域内の道路沿いに電柱が5本ある。1本あたりの電柱の移設費用が60万円かかるということで、300万円ということで算定している。

○佐藤博俊委員

今ある物件を現場見ないとわからないが、どういう形になっているのか。

●大川原社会教育課長

5本の内訳は、中電が2本、NTTが3本という形になる。今、道路沿いに5本立っている。

○草賀章吉副委員長

道路を拡張する時は、市道だったら市が出しているのか、道路は拡張するが移設は中電がするということではないのか。

●大川原社会教育課長

教育政策課長がお答えする。

●鈴木教育政策課長

基本的に道路の法方に電柱があって道を広げるために電柱が邪魔になって、また道の方に電柱を移転するということになると中部電力のお金でやっていただけるが、それを他の用地に入れるということになると費用を払うというのが基本。

○佐藤博俊委員

今の段階で不明瞭な点も感じたが、出してくる追加はそれなりのことで話をしていると思うが、もう一度しっかりと交渉して少しでも安くなるようにご努力を期待する。

○水野薫委員

物件補償費は仕方がないと思うが、参考までに造成費でかなりの埋め立てる土砂がいると思うが、どこから運ぶようになっているか。

●大川原社会教育課長

この敷地の北に土取り場があり、中村事業土取り場から良質な山砂利を搬入する予定。

○水野薫委員

直ぐ北の近い距離が。

●大川原社会教育課長

今の予定では、500メートル。

○豊田勝義委員長

以上で質疑を終結する。

〔討 論〕

なし

〔採 決〕

議案第62号 平成24年度掛川市一般会計補正予算（第1号）については
全会一致にて原案とおりの可決すべき

4) 協議事項

[11:07~11:08]

閉会中継続調査申し出事項 6項目

閉会中継続調査申し出事項 6項目で了承

5) その他

なし

6) 閉会 11:09